

ならコープ環境保全活動

# 2021年度助成団体報告集





## 2021年度 ならコープ環境保全活動助成団体報告集の発刊にあたって

ならコープは、創立以来「よりよい生活は、平和とよりよい環境の中でこそ実現する」と考え、「安心・安全」を求めて様々な活動を展開してきました。

地球規模での環境破壊が深刻化する中、このかけがえのない奈良の豊かな自然と文化を次世代の子どもたちに引き継ぎ、よりよい環境を協同の力で実現することが、多くの市民が参加する組織としての責務であると認識し、環境保全活動を生協の理念に関わるものと位置づけ、全ての活動の基本として位置づけています。

1979年に全国に先駆けて買い物袋持参運動の取り組みを開始し、レジ袋1枚につき5円のご負担をお願いして、「環境資金」としてリサイクルなど環境活動に活用してきました。地球温暖化問題をはじめ、私たちの身の回りにある様々な環境問題に取り組む中で、地域での活動の広がりが大切であると考え、2005年から奈良県内で環境保全活動に役立てていただこうと、資金の一部を助成金として活用しています。2021年度までの17年間で、のべ321団体に（2021年度は15団体）対し、計1436万4千円の環境保全活動助成をおこない、地域のみなさんとともに環境保全の取り組みをすすめることができました。

2022年2月にオンライン併用で開催した「ならコープ環境保全活動助成団体交流会」では、リトルプレスマガジン『さとびどころ』編集長の阿南セイコ氏から「100年住み続けたい奈良」をご講演いただき、みなさまといっしょに自然への感謝とリスペクトを感じることができました。また、「奈良県勤労者山岳連盟」、「笑郷(えこ)まほろばの会」、「特定非営利活動法人サークルおてんとさん」の3つの団体から、団体の紹介、コロナ禍における活動のご苦労や工夫、活動状況などをご報告いただきました。活動への熱い思いにとともに、本助成制度における意義を確認することができました。「いこま棚田クラブ」、「町思会」、「アースデイ奈良2021実行委員会」、「春日原始林を未来へつなぐ会」、「川西町・サークルお花畑」、「馬見自然塾」、「里山の山野草を守る会」、「山守の会プラス彩雲ひろば」、「緑友会」、「奈良・人と自然の会」、「秋篠川源流を愛し育てる会」のみなさまにおかれましても助成事業の成果・メッセージから、コロナ禍においても、最大限の環境保全活動に取り組まれた姿が伝わりました。環境保全の活動を地域のみなさんとともにすすめることができたことを実感し、各地域での広がりへの期待を強く感じました。

2020年7月1日に全国でレジ袋が有料化され、レジ袋を辞退する人の割合が増えた一方でレジ袋の代わりとなる家庭用のポリ袋の購入は増えていて、プラスチックごみをどう削減するか引き続きの課題となっています。また、今年4月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行されました。商品の販売やサービスに付随して無償で提供される、スプーンやフォーク、飲料用ストロー、ヘアブラシ、くし、歯ブラシ、衣料用ハンガーなど合計12品目を「特定プラスチック使用製品」と定めています。これらの年間使用量が5トン以上の事業者に対して軽量化や代替素材への切り替え、有料化等を義務化するものですが、有料化は選択肢の一つであり、軽量化や代替素材への切り替えが中心であると言われています。

ならコープでは「ならコープの2030環境ビジョン」においてプラスチック容器包材と資材の削減に取り組むことを明記し、その考えのもと、使い捨てプラスチックに関しても削減に向けての取り組みを組合員とともにすすめています。使い捨て文化に流されない新しい価値観を創り出して、行政や多くの市民のみなさまとともに「人づくり、まちづくり」の運動をすすめてまいります。

世界では紛争やロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻により、子どもを含む多くの民間人の尊い命が犠牲になり、人々の日常生活や自由が奪われています。また、地球環境問題は異常気象と温暖化の悪循環が顕著となっています。創立以来大切にしてきた平和の理念「よりよい生活は平和であってこそ実現する」を事業と活動のベースにおき、持続可能な社会の実現をめざして、私たち自らの消費行動やくらしのあり方の見直しを、より一層すすめてまいります。

市民生活協同組合ならコープ  
理事長 吉田 由香



## 2021 年度環境保全活動助成団体申請 一覧

	団体名	主な活動地域	助成活動テーマ・内容	頁
1	いこま棚田クラブ	生駒市	「生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造」	6
2	町思会	奈良市	「五カ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る」	6
3	アースデイ奈良 2021 実行委員会	奈良市	アースデイ奈良 2021 2021 テーマ「自由自在－わたしサイズのくらし－」	7
4	春日山原始林を 未来へつなぐ会	奈良市	「春日山原始林観察会の実施」	7
5	川西町・ サークルお花畑	川西町	「花とみどりのまちづくり地域の環境・美化活動、住民の交流の場づくり」	8
6	馬見自然塾	北葛城郡	「馬見自然塾（自然観察会）」	8
7	特定非営利活動法人 サークル おてんとさん	奈良県	「地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催」	9
8	里山の山野草を 守る会	桜井市	「里山の山野草を守る保全活動」	9
9	山守の会プラス 彩雲ひろば	桜井市	「里山林の保全と利用推進」	10
10	緑友会	奈良県	「歴史と環境に配慮した景観保全活動」	10
11	奈良・人と自然 の会	奈良市	「『ならやま景観整備事業』のビオトープ池整備および絶滅危惧種『ニッポンバラタナゴ』の育種環境の安定化」	11
12	笑郷（えこ） まほろばの会	香芝市	「二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び、次世代に伝える」	11
13	秋篠川源流を 愛し育てる会	奈良市	「秋篠川源流域の住宅開発と土地利用の変遷を大判の航空写真で紹介」	12
14	蒼池の会	奈良市	「蒼池の自然環境を守り活かす活動」	12
15	奈良県勤労者 山岳連盟	大和郡山 市	「グリーンハイク（ふるさとの自然を守り育てよう）」	13
2021 年度環境保全活動団体 HP リンク集				13



団 体 名	いこま棚田クラブ
事 業 テ ー マ	「生駒市西畑地区の棚田・里山の再生と創造」
主 な 活 動 場 所	生駒市西畑町の棚田・里山（向山）
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	2021 年はコロナ感染が昨年から引き続き収まらず地元イベントも中止となるものもありましたが、いこま棚田クラブの活動は会員の毎週一回の活動により、西畑町の景観の整備は実施されています。 ならコープ主催の「ならっぴクラブ」の活動は家族で参加し、棚田の自然の中で走り回る子どもたちには良い学びの場となっている。 棚田は生物多様性に富み、防災などにも寄与しているので継続が強く望まれるところです。



団 体 名	町思会
事 業 テ ー マ	「五カ谷の里の景観を守り、この地域の発展と活性化に寄与すると共に会員相互の親睦を図る」
主 な 活 動 場 所	奈良市高樋町(旧添上郡五ヶ谷村字高樋)及び、その周辺地域
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	今年度も山の辺の道(奈良道)付近にはコスモスやひまわりを咲かせました。野菜は昨年同様手に余る程育てました。また、昨年度に新たに取組んだ原木椎茸が出始めました。 奈良マラソンのコースが域内を通る事から、応援に毎年大きな案山子を作っています。今年度は様々な方の協力を得て上出来でした。 助成頂いたお金は、肥料や資材購入に充当させていただきました。今後も御支援をよろしくお願い致します。



団 体 名	アースデイ奈良 2021 実行委員会
事 業 テ ー マ	アースデイ奈良 2021 「自由自在-わたしサイズの暮らし-」
主 な 活 動 場 所	奈良公園登大路園地
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	奈良の豊かな自然の中で、自分サイズ・自分ペースの暮らしを提案することで、食もエネルギーも地産地消をすすめ、脱炭素社会を目指そうという発信を行いました。脱プラスチックを呼びかける「木のある暮らし」、春日山原始林ツアーなど、地域の団体や学生の協力を得て、それぞれが毎日の暮らしの中で自由に自分なりの「アースデイな毎日」を考え実行に移すヒントを提供できたと思います。



団 体 名	春日山原始林を未来へつなぐ会
事 業 テ ー マ	「春日山原始林観察会の実施」
主 な 活 動 場 所	春日山原始林・奈良公園
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	コロナ禍のため予定していた講師を招いての観察会の実施はかなわなかったが、夏休みの親子向けの観察会の実施で代替いたしました。厳しい状況の中でしたが、各イベントでは、それぞれ春日山原始林や奈良公園の自然の価値や魅力を体験していただき、関心を持っていただくことができました。





団 体 名	川西町・サークルお花畑
事 業 テ ー マ	「花とみどりのまちづくり地域の環境・美化活動、住民の交流の場づくり」
主 な 活 動 場 所	川西町結崎公民館周辺
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	この1年はコロナ禍での自粛の日々でしたが、年間を通して毎土曜日の活動を、我々なりの対策をとり継続に努めました。主に地元結崎公民館敷地内やその周辺の整備・花壇や大型プランターでの草花の栽培・樹木の剪定管理・清掃等々を行いました。 今後人的交流が復活すれば会員相互の親睦、地域住民の憩いの場づくりや世代間交流のイベント等々の企画も再開していきたいと思っています。



団 体 名	馬見自然塾
事 業 テ ー マ	自然観察会を通し環境保全の基礎力を養う
主 な 活 動 場 所	県立馬見丘陵公園
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	2021年度はコロナ禍のため年間計画7回のうち3回しか実施できませんでした。 市民が見て、触って、嗅いで五感を生かして自然を観察してみると、新たな発見があります。 環境保全の具体的な作業はしていませんが、市民が自然観察を通して環境保全の基礎力を養えると考えています。明神山観察会では奈良盆地東縁断層や古奈良湖と盆地の水害跡なども俯瞰的に観察できました。





団 体 名	特定非営利活動法人サークルおてんとさん
事 業 テ ー マ	「地球温暖化防止やエネルギー問題に関する講演会の開催」
主 な 活 動 場 所	奈良市ボランティア インフォメーションセンター
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	講演会「リオ（環境サミット）からSDGsへ」を開催した。古代から水は重要な資源であり、人類は水を求めてアフリカから世界各地に旅立ったと言える。MDGsや世界水フォーラムに関わられた講師は、安全な水と適切な衛生施設はMDGsに大きく寄与し、水問題を解決すればMDGsの3分の1以上を達成できると話された。SDGsでも同様に水の視点から考えゴールを目指すことは、地球温暖化防止に大きく影響し、解決策のひとつになると感じた。



団 体 名	里山の山野草を守る会
事 業 テ ー マ	「里山の山野草を守る保全活動」
主 な 活 動 場 所	桜井市
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	桜井市三谷とその周辺地域で山野草自生地での保全活動を実施してきましたが、今年度もコロナの影響で休会することが多く十分な活動はできませんでした。其々のフィールドでは貴重な山野草が多く自生しているので、各班の有志で観察・保全活動を継続してきました。そのような中で何よりうれしいことは、長年継続観察してきた山野草の成長記録を「花のあしあと」として一冊の本に纏め成果物とすることが出来たことであります。



団 体 名	山守の会プラス彩雲ひろば
事 業 テ ー マ	「里山林の保全と利用推進」
主 な 活 動 場 所	桜井市
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	<p>1、里山林保全活動の展開 里山林内の桧林の間伐を行い、健全化を図りCO<sub>2</sub>の吸収力を一層高めるとともに、休耕田の草刈り等を通じ、環境保全に努めた。</p> <p>2、教育。研修活動の場の提供 里山を開放、小学生の森林学習や里山体験を希望する子どもを主体とする都市住民を積極的に受け入れ体験の場を提供、繰り返すことで子ども達の興味が深まるのを覚えた。活動の一部をテレビ局が現地収録に見え放映された。</p>



団 体 名	緑友会
事 業 テ ー マ	「歴史と環境に配慮した景観保全活動」
主 な 活 動 場 所	<p>「古都法買入地景観形成事業」 西ノ京エリア (奈良市五条1丁目 445-23 ほか)</p>
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	<p>今期の活動も新型コロナウイルス感染防止対策で、活動時間に制約を受けましたが、植物の生長は待ってくれないため、草刈り・剪定などで景観の保全に努めました。</p> <p>環境保全では、引続き雨水を灌水に利用することと、農業用マルチをポリエチレン製の使用から紙製の素材に変更し環境に配慮しました。(右上写真)</p> <p>また、地域の子供達との芋掘り会は、感染防止対策をした上で、多くの子供達と父兄で楽しく芋掘りをしていただきました。(右下写真)</p>





団 体 名	奈良・人と自然の会
事 業 テ ー マ	『「ならやま景観整備事業」のビオトープ池整備および絶滅危惧種『ニッポンバラタナゴ』の育種環境の安定化』
主 な 活 動 場 所	奈良県奈良市佐紀町、奈良阪町にわたる「ならやま里山整備事業地」内ビオトープ池
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	ビオトープ池の水辺や通路を整備し、訪れる人に水辺の生物や四季の草花と親んでもらうことができました。また里山から里地を經由してビオトープ池へ流れる水路を整備し、ホタルなどの棲む小川、水辺を作りました。タナゴの育種関連では、田貝の育種用の池を作り、真砂土や腐葉土、枯葉を投入して田貝の育種環境を強化しました。来年度はこれまで以上に田貝や水生昆虫が増える環境になるように頑張っていきます。



団 体 名	笑郷（えこ）まほろばの会
事 業 テ ー マ	「二上山山麓の貴重な自然と歴史を学び、次世代に伝える」
主 な 活 動 場 所	香芝市
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	<p>コロナ感染拡大防止対策をしながら活動した。5月には「コロナウイルスを正しく知るセミナー」を実施。コロナ禍でも住みやすいコミュニティや地域活動で考えておくことなどを学習した。</p> <p>地域でも感染者が出た6月・2月以外の月は定員を減らして森の観察会、屯鶴峯の地質、自然を生かした住民と行政が協働で作られた公園事例とその運営形態、自然物を生かした野外工芸、どんづるぼうの森のゴミ拾いやトレイルの整備、樹木板の作成、ルート板の取り付け、楽しく歩けるための地図の製作を実施した。</p> <p>4月アースデーには、ゴミのポイ捨てを少なくするために期間限定の看板をたてた。また、夏にはホタル保護のための水辺の生き物調査を実施した。</p>



団 体 名	秋篠川源流を愛し育てる会
事 業 テ ー マ	「秋篠川源流域の住宅開発と土地利用の変遷を 大判の航空写真で紹介」
主 な 活 動 場 所	中山町西2丁目集会所、登美ヶ丘南公民館
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	秋篠川源流の近鉄学園前一带は、昭和40年前後からの大規模開発で山林が住宅地に変遷しました。その後50年が経過して高齢化が進む一方、次の世代が地域を守る時代になっています。秋篠川は、この急速な市街化の中で自然が残る貴重な公共空間となっています。昭和50年、60年、平成20年の大判航空写真は、活字の説明なしで一目で環境変化と自然の大切さを実感させてくれます。展示会には多くの人が見入っていました。



団 体 名	蒼池の会
事 業 テ ー マ	「蒼池の自然環境を守り活かす活動」
主 な 活 動 場 所	奈良市学園朝日町蒼池
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	奈良市の許可を得て、毎月1度は蒼池に立ち入り、ゴミ拾い、雑草の刈り取り、通路をふさく雑木・ツタ類の除去など、環境整備作業を行った。春と秋には自然観察会を開催し一般市民に蒼池の魅力を紹介した。これらの活動状況を会報誌「あお池だより」で発言した。 蒼池は古い歴史を持つため池跡地で、市街地内に残った貴重な自然遺産である。この環境を守り生かすため奈良市および地元との協働を図り、価値を高める活動を続けたい。





団 体 名	奈良県勤労者山岳連盟
事 業 テ ー マ	「グリーンハイク～ふるさとの自然を守り育てよう～」
主 な 活 動 場 所	奈良県内の山・ハイキングコース
助 成 事 業 の 成 果 ・ メ ッ セ ー ジ	山域を守る活動では、自然を楽しみながらゴミ回収（計 87.2kg）、山のトイレ問題啓発を行い生駒山では不法投棄調査、矢田丘陵では案内板掃除、高円山ではナラ枯れ木ビニールシート処理、高見山で山頂避難小屋掃除等を行いました。また、自然環境を伝えたり調べる活動では、「親子向け観察会」、「山の谷水・湧水の調査」を行いました。今後も自然の楽しさ素晴らしさを伝え、共に歩きながらできる保全活動を展開していきます。



### 環境保全活動団体 HP リンク集

いこま棚田クラブ	アースデイ奈良2021 実行委員会	春日山原始林を未来 へつなく会	馬見自然塾	特定非営利活動法人 サークルおてんとさん
緑友会	奈良・人と自然の会	笑郷（えこ）まほろ ばの会	奈良県勤労者 山岳連盟	ならコープ環境保全 活動助成 HP



## 「ならこーぷ環境保全活動助成」事業決定までの流れ

2021年度は15団体から応募があり、審査の結果15団体に総額で60万円助成しました。

### 応募要項

(1) 応募資格

奈良県内で活動する団体・グループ・サークル等（個人は除く）

(2) 助成の対象

地域の自然環境、地球環境の保全に関わる以下の活動を助成の対象とします。  
調査・研究活動、教育・啓発活動、政策提言活動、環境保全の実践活動

(3) 助成の基準

1件4万円を上限とし助成します。

募集年度では同一団体への助成は1件のみとします。

(4) 助成の流れ

□募集期間	2021年2月機関紙「あをがき」でお知らせ
↓	
□応募期間	2021年3月15日（月）までに所定の応募用紙提出
↓	
□助成先決定	2021年4月理事会
↓	
□助成金交付	助成金請求により速やかに助成金交付・HP掲載
↓	
□事業の執行	2021年4月から2022年2月中旬までの事業対象
↓	
□報告書提出	事業終了後1ヶ月（最終2022年2月末）
↓	
□報告集作成	発行

## 市民生活協同組合ならこーぷ

〒630-8136 奈良県奈良市一丁目2番2号

TEL: (0742)33-6443 FAX: (0742) 34-8060

ホームページ <http://www.naracoop.or.jp/>



国際規格である ISO9001・2015 品質マネジメントシステム及び、  
ISO14001・2015 環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

本冊子は、古紙パルプ配合率 70%以上の紙を使用しています。

2022年4月  
環境エネルギー推進部 発行